

日 時：平成 28 年 11 月 17 日（木）18 時 30 分 ～20 時 00 分

場 所：石郷多目的研修集会施設

対象地区：石郷

参加人数：7 名

■意見交換

内 容
<p>○町会からの要望について (市民からの要望、質問) 町会要望として市へどのような内容を提出したのか。</p> <p>(町会長の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・石郷地蔵尊前から石郷 T 字路までの両側への側溝整備を要望した。・柏木小学校へ向かう道路へのガードレール設置を要望したが、道路が狭くなるということであった。・集会施設内のすべり台が老朽化したことから更新を要望したが、予算の関係で困難であるということで、市で撤去してもらった。 <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・平成 29 年度の町会要望は 11 月 21 日の行政委員連絡会議にて回答する。・側溝整備は宅地側への電柱移転が可能であれば実施について検討する。
<p>○集会施設の改築について (市民からの要望、質問) 集会施設の改築が予定されていると聞いた。石郷はどうなるのか教えて欲しい。</p> <p>(市の回答)</p> <ul style="list-style-type: none">・石郷の集会施設は昭和 55 年に建設され、耐震基準を満たしていない可能性のある施設であるが、災害時の避難所であることから、市は改修・改築を進めている。平成 28 年度は猿賀と南田中で改築し、平成 29 年度は新屋町と大木平の改築を予定している。当初の計画では年間 1 億円ほどの予算で 2 施設ずつ対応する予定であったが、震災復興や東京オリンピックにより資材が高騰しており、猿賀も南田中もそれぞれ 8 千万円となっている。このような状況ではあるが、耐震基準を満たしていない可能性のある施設については、事業を続けていく予定である。古い施設から順に実施していくので、石郷は 4 年くらい先になる予定である。 <p>(市民からの要望、質問)</p>

石郷は、改築を希望している。改築に係る町会負担については、お金を積立し、世帯に負担を求めず町会から負担できるよう努力している。

(市の回答)

- ・集会施設の改修・改築については、耐震改修の場合はその経費を市が全額負担し、また、改築の場合は町会負担を求めるという市全体のルールを定めている。耐震基準を満たしていない可能性のある集会施設を管理している各町会へ希望調査したところ、石郷は町会負担して改築したいという希望であった。今順位付けして事業を実施している。

(市民からの要望、質問)

今の集会施設の面積は 300 m²ほどあるが、新しい施設はどうか。

(市の回答)

- ・1世帯当たり 2 m²が基準となっており、石郷では 200 m²くらいになる。その範囲内で大広間の規模や部屋数などを協議することとなる。
- ・新耐震基準前（昭和 56 年）に建てられた集会施設は 21 施設あり、石郷は古い順でいうと 11 番目となっている。
- ・これまでは国や県の補助金を活用して集会施設を建築し、町会にも負担を求めてきた。光城や本町では 1 世帯当たり 5～6 万円負担したと聞いている。町会から 1 世帯当たり 1 万 5 千円の負担をしてもらい、残りを市が負担するという方針を定めた。限られた財政状況の中、今後どのように変わっていくか予測困難ではあるが、状況をみながら事業を実施していきたい。

(市民からの要望、質問)

- ・200 m²となるとだいぶ狭くなる。

(市の回答)

- ・この施設は約 300 m²だが新しい施設になると約 200 m²になる。この施設は農業関係の補助金で建てられたが、その補助基準において大広間がどのくらい必要というように判断されて建てられた。かつては催事や葬式など多くの人が集まる機会が多かったが、最近は大広間があまり活用されていないように見受けられ、大広間が必要かどうかについても考える必要がある。どのような部屋がどのくらい必要か、町会としてどのように活用していくかなど考えていただきたい。なお、石郷は 200 m²が限度であり、例えば 250 m²の施設が欲しい場合、50 m²分の経費は全額町会負担となる。

○健康診査について

(市民からの要望、質問)

後期高齢者の健診について、心電図、眼底検査、血液検査の一部が検査項目から除外された。市独自の援助はないのか。

(市の回答)

- ・ 40歳（平川市は30歳）から74歳を対象とした特定健診では、身体測定、血圧測定、尿検査、血中脂質、肝機能、血糖、クレアチン、尿酸、貧血検査、心電図検査、眼底検査が検査項目となっている。75歳以上の後期高齢者健康診査では、貧血検査、心電図検査、眼底検査が除外されているが、国の基準に則した形で実施している。
- ・ 平成27年度に市で健康づくり宣言をして大会も開催した。現在策定中である新長期総合プランにおいても、平川らしきとして健康で長生きして青森県一位を目指している。健康診査については、できるだけ多くの方々に受診していただくことで、早期発見・早期治療による重症化を防ぎ、ひいては医療費抑制につながる。市民の方々に健康で長生きしていただきたいことから、生活習慣、運動する習慣、健康診査の3つの柱により取組みを進めていく。
- ・ 後期高齢者の健診で除外された項目について、市独自で対応できるかは検討する必要がある。市独自で項目を追加できるか内部で検討する。ガン検診は無料で受診できるので、ぜひ受診していただきたい。
- ・ 塩分の摂取量を少なくし、野菜の摂取量を多くするなど食生活の改善も必要であり、長期にわたる取組が必要と考える。同じリンゴの産地である長野県と比較すると、長野県は野菜の摂取量が多い。

(市民からの要望、質問)

胃ガンの検査はバリウムで行っているが、胃カメラにできないのか。

(市の回答)

- ・ 制度上はバリウム検査に加え2年に1回の胃カメラ検査も可能となっているが、集団検診時に胃カメラ検査を導入することは事業受託者側で実施が困難な状況にある。また、病院での胃カメラ検査は可能であるが、今のところ読影の際の条件をクリアできないことから実施はできていない。

(市民からの要望、質問)

2、3年前大腸検査をして大学病院で再検査をした。その時に胃の検査もしたが、胃カメラがいいと思った。再検査の用紙に弘前市や黒石市の病院が書いてあるが、そういうところで健診ができるようにシステムを作って欲しい。

(市の回答)

- ・健診で再検査となった場合は弘前や黒石の病院で検査できるが、健診ではできないこととなっている。弘前医師会等と連携して実施する必要がある、市独自では困難である。今後体制を整えるよう努力していく。

○道路関係について

(市民からの要望、質問)

石郷内の道路の速度制限が 40km になっているが、30km にする方法はないか。

(市の回答)

- ・町会の総意として市へ要望をあげていただければ、市から町会要望として警察へ伝える。

(市民からの要望、質問)

アップランドから平賀体育館に曲がる交差点に看板がある。道路上に建っていてだいぶ古い。市が貸しているのか不思議な感じがする。

(市の回答)

- ・現場を確認して対応する。

(市民からの要望、質問)

緑青園から唐竹に向かう道路に歩道があり、そこにある転落防止柵が錆びていて壊れているものもある。修理できないものか。その北側に古いガードレールがあるが、耐雪型に変えてはどうか。

(市の回答)

- ・現場を確認して対応する。

○ふるさと納税について

(市民からの要望、質問)

平成 27 年度のふるさと納税は約 1 億 6,000 万円となり、県内で 1 位と報道にあった。具体的な内容を教えて欲しい。

(市の回答)

- ・平成 27 年度からお礼の品を増やしたところ、昨年 12 月だけで 8,000 件を超えた。1 万円の寄付に対してリンゴ 5 キロ(1 段)であり、一番人気があるのは JA の蜜入り糖度 14 度保証のリンゴである。これを市が購入し、JA に支払っている。飛躍的に伸びたのはインターネットの『ふるさとチョイス』に掲載したことである。その『ふるさとチョイス』を扱っているインターネットの会社に委託料支払っている。

- ・ふるさと納税する人にその使い道を選択していただいている。観光応援、子どもたちの活動支援、農業応援、景観づくり応援、その他の5つの選択肢がある。
- ・JAと県外へトップセールスに行っているが、全国各地からふるさと納税がきているので、いい宣伝になっていると思う。平成28年度も10月末現在で予約も含めて約7,500万円のふるさと納税がある。

(市民からの要望、質問)

寄附金はどのように使う予定か。

(市の回答)

- ・平成27年度は子育て支援や農業支援に使った。平成28年度は使いみちを検討している。医療費関係や子育て支援などに充てていきたいと考えている。

(市民からの要望、質問)

新しい品種を扱うよう要望はないのか。

(市の回答)

- ・市から要望してお礼の品に青天の霹靂、谷川牛、桃も入れており、できるだけ全国から多くの寄付をいただけるよう努めている。

○広報ひらかわについて

(市民からの要望、質問)

毎月の広報を楽しみにしているが、宣伝広告が載っていることが残念だ。財政難かもしれないが宣伝広告の掲載はやめて欲しい。

(市の回答)

- ・行財政改革の一環で、広告の掲載料をいただきながら広報を発行する手法がいろんな自治体で行われており、また、スポーツ施設や文化施設などに企業名を入れることで掲載料をいただき施設管理費に充てるというネーミングライツというものもある。平川市においても掲載料をいただきながら広報を発行する手法を導入した。広報に広告を掲載することに違和感を覚えることもあるかと思うが、掲載する広告がいいものか相応しくないものかを吟味していることから、ご理解いただきたい。

(市民からの要望、質問)

広告のページを増やして多くの掲載料をもらえばいいのではないか。

(市の回答)

- ・年度初めに年間の広報のページ数を決めて発行している。広告の量を増やす必要があればページ数を増やす場合もありますが、現状で最低限の広告をお知らせできていると思う。

(市民からの要望、質問)

県営スケート場のように、ひらかドームのネーミングを募集してはどうか。

(市の回答)

- ・既に楽天イーグルスひらかドームと楽天イーグルス尾上野球場となっている。広告費をいただくのではなく、プロ野球選手を年数回講師として派遣するという契約をしている。

○スポーツ事業の誘致について

(市民からの要望、質問)

平川市はソフトボールのまちというイメージがある。温泉施設もあるので、その方面から人を呼込むことはできないか。

(市の回答)

- ・オリンピックの関係で、弘前市ではソフトボールで台湾に練習場を提供する。今整備中の多目的広場は両面でソフトボールができる広さであり、また、ひらかドームでもソフトボールができるので、何かできないかという思いはある。ただ、大きなソフトボール大会の実施となると6~8面必要となる。友好都市である南九州市にはあるが、平川市では今ある施設と今整備中の多目的広場を合わせても5面となり、大会開催には不足している。何か誘致できないか今後検討する。

(市民からの要望、質問)

- ・温泉を活用すればどうか。

(市の回答)

- ・温泉はあるが宿泊を兼ね備えたものが少ない。新しい体育館に合宿所を備えるという考えもあったが、年間どのくらい利用者が見込まれるのか、合宿者の食事はどうするのかといった問題もある。

(市民からの要望、質問)

岩木に野球場があり大学生の合宿が行われている。

(市の回答)

- ・県の青少年スポーツセンターで合宿所もある。平川市では来年の春に陸上競技場と多

目的広場が完成する。平賀体育館は老朽化しているため改築を計画したが、材料費高騰により計画をストップしている。数年後に国体が青森県で開催されるので、それまでには今の競技に耐えうるものを建設したいと考えている。メインの協議アリーナのほかに練習用スペースも必要であることから、今の体育館では開催が難しい状況にある。

(市民からの要望、質問)

新しい体育館を建設する場所はあるのか。

(市の回答)

・陸上競技場の近くに新しい体育館を建設できるスペースはある。

○医療施設について

(市民からの要望、質問)

平川市に大きな産婦人科をつくってはどうか。見舞いに来た人は温泉を活用し、平川市で生まれた人は将来平川市に遊びに来るようになるのではないか。

(市の回答)

面白い発想である。ただ産婦人科医になる人が少なく医師の確保が難しい。人口10万人当たりの医師については、全国平均が約210人に対して中弘南黒は230~240人であることから、比較的医師は多い地域である。ただ開業医が多い一方で、大きな病院に努める勤務医が少なく救急医療が厳しい状況にある。県の医療再編において、弘前市では市立病院と国立病院とが一緒になって救急医療に取り組むこととなった。医療に関しては平川市のみならず中弘南黒全体で考える必要がある。

○人口減少対策について

(市民からの要望、質問)

今後32,000人の人口はどうなっていくのか。

(市の回答)

・国立社会保障・人口問題研究所は平成52年までに22,631人まで減少すると推計しているが、25,000人くらいで歯止めを掛けたい。

(市民からの要望、質問)

広報ひらかわを見ると生まれる人より亡くなる人が多く、転入者より転出者が多い。

(市の回答)

・合併直後の平成18年は約36,000人であったが、10年経って約32,000人となった。

これに歯止めを掛けるため、平成 27 年 12 月に総合戦略を策定し、これを基礎としながら今後 10 年間の長期総合計画を策定しているところである。人口減少を防ぎ、高齢者も増えてくる中で、市民が安心して暮らせるまちづくりを市民の皆様と一緒に考えていきたい。

(市民からの要望、質問)

なかなか人口は増えないのではないか。

(市の回答)

- 平川市では比較的新しい家が建っていると思われる。子育て世代に対する支援もしており、例えば、県外から移住してきた子育て世代が市内の業者で家を建てた場合、100万円助成している。